



文学研究科 比較文化学専攻

※「言語・文化専攻」に名称変更届出予定。

- 英語圏文化研究コース
- 応用言語学・英語教育研究コース
- 国際文化・メディア文化研究コース
- 日本語・日本文化研究コース

古い知識の消費者から
新しい知識の生産者へ



2018年度 9月試験・2月試験 [博士前期課程 院生募集]

入試日程	9月試験	2月試験
募集人数	10名	
出願期間 <small>※締切日必着</small>	2017年7月10日(月)~8月25日(金)	2017年12月4日(月)~2018年1月15日(月)
試験日	2017年9月17日(日)	2018年2月10日(土)
合格発表日 <small>※投函予定日</small>	2017年9月20日(水)	2018年2月22日(木)
入学手続期間	[一次] 2017年9月20日(水)~10月20日(金) [二次] 2017年9月20日(水)~12月20日(水)	[一次] 2018年2月22日(木)~3月 7日(水) [二次] 2018年2月22日(木)~3月16日(金)

文学研究科 説明会

〈第1回〉

日時 2017年7月12日(水) 17:00~18:30
場所 桃山学院大学 聖ペテロ館2階 エクステンション・センター多目的室
(和泉市まなび野1-1)

〈第2回〉

日時 2017年12月2日(土) 13:00~14:30
場所 桃山学院大学 梅田サテライト
(大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビル8階)

[詳細はこちら] WEBにて詳細をご紹介します。

文学研究科について▶<http://www.andrew.ac.jp/faculty/literature/index.html>

桃山学院大学院 文学研究科

検索

入試制度について▶https://www.andrew.ac.jp/nyushi/admission/literature_first.html

文学研究科について

入試制度について



桃山学院大学大学院 文学研究科 比較文化学専攻[※]

※「言語・文化専攻」に名称変更届出予定。

言語や文化の領域を深く掘り下げる 4 研究コース

英語と日本語、さらにその他諸言語の研究を基盤として
さまざまな文化諸現象を深く掘り下げる多彩な研究コースが設定されています。

英語圏文化 研究コース

英語圏の文化を文学・思想・歴史・
社会・政治など、多様な観点から研究

イギリス・アメリカはもとより、アイルランド・カナダ・オーストラリア・ニュージーランドなど、英語を公用語としている国と地域における文化現象を多様な観点から研究します。そのような研究に必要な英語力(リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング)の向上も図り、少人数体制で学びます。英語文化についての幅広い教養と深い洞察力をもつ国際派教養人を目指します。

応用言語学・英語教育 研究コース

高度な語学力に英語の専門知識と
応用言語学的視野をもつ優れた英語教員の養成

学部段階で身につけた英語力に一層磨きをかけながら、応用言語学(心理言語学・第二言語習得論・社会言語学・言語政策学・辞書学)・英語学(音声学・文法論・意味論)・言語学(認知言語学・語用論・談話分析)・コミュニケーション学(異文化コミュニケーション論)の専門知識を深める、と同時に教授法・カリキュラム・教材開発・テストと評価などの教育実践に関わる英語教育の研究を進めます。主に専修免許状を取得して「英語」の教職を目指すコースです。

国際文化・メディア文化 研究コース

ヨーロッパとアジアの文化およびメディアの
創り出す世界を多様な方法で研究

アジア、ヨーロッパの文化にみられる問題を糸口にして、さまざまな文化現象を比較文学・文化人類学・歴史学・哲学・思想・古典文献学などの観点から多角的に研究します。一方で、メディアに関する新領域(メディアリテラシー・メディア文化論・映像人類学)の研究も可能です。「世界の市民を養成する」という建学の理念を実現するにふさわしい知的職業人志向のコースです。

日本語・日本文化 研究コース

日本文化を熟知した日本語教員と
日本語学の素養のある日本文化研究者を育成

日本語を「世界の言語」の一つとして捉え、それを言語学と日本語学の観点から研究すると同時に、その研究が日本語教育にも貢献できるよう実践的考察を加えます。その一方で、日本文化を文学・歴史学・文化史などの立場から掘り下げます。また、研究目的によって、日本語学・日本語教育学に重点を置か、日本文化学の領域に焦点を絞るなど、どちらか一方の分野に比重をかけて研究します。留学生に人気のあるコースです。

多様な科目群からなる充実したカリキュラム

各研究コースには、必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習に加えて、多様な選択科目があり、研究分野の学習と研究が十分行えます。所属コース以外の研究コースの選択科目は自由科目として履修できます。すべての履修科目は各学期ごとに完結します。

「修士論文」か「課題報告」か、「2年修了」か「1年修了」か

修士論文の作成に挑む論文型に加えて、課題報告を提出して博士前期課程を修了し、「修士(文学)」の学位を授与される履修方法もあります。どちらの方法にも2年修了型と1年修了型があり、どの履修型を選択するかは、入学直後に申し出る必要があります。

主指導教員と副指導教員による研究指導体制

学生の研究テーマによって、入学直後に主指導教員が決められ、第1セメスター後には副指導教員が加わって互いに異なる観点から研究指導に当たります。中間発表と最終試験には主指導教員・副指導教員と第3の教員が助言または審査に係わり、公正を期します。

社会人対象 単位制学費納入システムに基づき、最長6年在学が可能

学費に関しては、単位制学費納入システムに基づき、分割納入によって最長6年在学できます。

取得できる教育職員免許状の種類と教科(博士前期課程)

- ▶ 高等学校教諭 専修免許状 英語・地理歴史
- ▶ 中学校教諭 専修免許状 英語・社会

当該免許教科についての中学校教諭一種または高等学校教諭一種免許状の取得資格を有するものに限り、

お問い合わせ先：桃山学院大学 入試課

TEL 0725-54-3245(入試課直通) ✉ nyushi@andrew.ac.jp



桃山学院大学
St. Andrew's University